

## プロフィール紹介

田中拓弥 ( 研究員 ( 産官学連携 ) )

出身地 : 大阪府

### 学歴 :

1992 年 京都大学農学部 卒業  
1999 年 京都大学大学院農学研究科 退学 ( 農学修士 )

### 職歴 :

1999 年 ~ 2001 年 京大大学生態学研究センター ( 教務補佐員 )  
2001 年 ~ 2008 年 総合地球環境学研究所 ( 技術補佐員、プロジェクト研究員など )  
2008 年 ~ 2009 年 京大大学生態学研究センター ( 教務補佐員 )

### 関心のある領域 :

水域や陸域の生態系と人びとのかかわり。これまでは、流域管理や地下水保全をテーマとして人文社会的な視点から、1) 環境と関わる人びとの知識や文化、2) 水環境を利用する地域の制度、3) 水辺環境に対する価値意識を明らかにする方法論と試行による検討、などを研究してきた。

### 研究業績 :

#### 書籍

1. 総合地球環境学研究所編 ( 2008 ) 「地球の処方箋 - 環境問題の根源に迫る - ( 地球研叢書 ) 」, 昭和堂, 京都, 211pp .  
執筆箇所は、「河川の環境を『話し合う場』」( 176-179 頁 )
2. 和田英太郎監修, 谷内茂雄・脇田健一・陀安一郎・中野孝教・田中拓弥編 ( 2009 ) 「流域環境学 - 流域ガバナンスのための理論と実践 - 」, 京都大学学術出版会, 京都, 564pp .  
執筆箇所は, 第 4 部第 1 章「地域社会と水辺環境の関わり」, 第 4 部第 2 章「住民が愛着を持つ水辺環境の可視化」, ブリーフノート 9「流域の環境情報と要因関連図式」, ブリーフノート 10「簡易モニタリングと重層的なコミュニケーション」, 第 5 部 1 章 2 節「琵琶湖-淀川プロジェクトにおける研究者の協働と地域社会との関わり」

#### 論文

1. 谷内茂雄・脇田健一・原雄一・田中拓弥(2002)「水循環と流域圏 流域の水環境の総合的な診断法」. 環境情報科学 Vol.31 No.4 , 17-23 頁.

2. 山田佳裕・井桁明丈・中島沙知・三戸勇吾・小笠原貴子・和田彩香・大野智彦・上田篤史・兵藤不二夫・今田美穂・谷内茂雄・陀安一郎・福原昭一・田中拓弥・和田英太郎(2006)「しろかき期の強制落水による懸濁物,窒素とリンの流出 - 圃場における流出実験 - 」*陸水学雑誌* Vol.67 No.2、105-112 頁.
3. 谷内茂雄・田中拓弥・中野孝教・陀安一郎・脇田健一・原雄一・和田英太郎(2007)「総合地球環境学研究所の琵琶湖 - 淀川水系への取り組み: 農業濁水問題を事例として」*環境科学会誌* Vol.20 No.3、207-214 頁.
4. Takahiro Hosono, Takanori Nakano, Akitake Igeta, Ichiro Tayasu, Takuya Tanaka, Shigeo Yachi (2007)“Impact of fertilizer on a small watershed of Lake Biwa: Use of sulfur and strontium isotopes in environmental diagnosis”, *Science of the Total Environment*, Vol. 384, 342–354.
5. Takanori Nakano, Ichiro Tayasu, Yoshihiro Yamada, Takahiro Hosono, Akitake Igeta, Fujio Hyodo, Atsushi Ando, Yu Saitoh, Takuya Tanaka, Eitaro Wada, Shigeo Yachi (2008) “ Effect of agriculture on water quality of Lake Biwa tributaries, Japan ” , *Science of the Total Environment*, Vol. 389, 132–148.
6. Tomohiko Ohno, Takuya Tanaka, Masaji Sakagami (forthcoming) “ Does social capital encourage participatory watershed management?: An analysis using survey data from the Yodo River watershed ” , *Society & Natural Resources*, ( forthcoming ) .

#### その他(報告書など)

1. 和田プロジェクト編(2002)『流域管理のための総合調査マニュアル』. 京都大学生態学研究センター(日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業 複合領域6 :「アジア地域の環境保全」和田プロジェクト(JSPS-RFTF97I00602)), 大津, 384pp.  
第1編1章1.3(13-17),1.4(19-22),2章2.2(28-32),第2編2章2.4(149-159),4章4.1(260-271),第3編1章1.2(317-319)を執筆。また、本書の編集をおこなった。
2. 田中拓弥編(2002)『水系研究の視点 - 琵琶湖・淀川水系におけるケーススタディ - 』. 京都大学生態学研究センター(日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業 複合領域6 :「アジア地域の環境保全」和田プロジェクト(JSPS-RFTF97I00602)), 大津, 217pp.  
はじめに(xii-xiii),1章1(2-17),あとがき(216),座談会(189-214)補足:「安定同位体比について」(130-131)を執筆。また、本書の編集をおこなった。
3. 総合地球環境学研究所 プロジェクト3-1(2007)「琵琶湖 - 淀川水系における流域管理モデルの構築(琵琶湖 - 淀川プロジェクト最終成果報告書)」, 京都, 643pp.  
i-viii, 351, 353-365, 379-403, 404-426, 427, 441-457, 503-508, 581-587,588-594, 627-628 を執筆。また、本書の編集をおこなった。